

湿地と人の暮らし

人々に雇用をもたらし、貧困から救う湿地

- 湿地は、食料や水の供給、交通、レジャーなどのあらゆる場面において、世界で10億人以上の人々の暮らしを支えています。
 - 6億6,000万人以上の人々が漁業と水産養殖業で生活しています。
 - アジア、アフリカ、アメリカ大陸のおよそ10億世帯が、稲作と米の加工によって生計を立てています。
 - 観光客の半数は湿地を含む区域を休暇・リラクゼーションのために訪れています。湿地は、旅行業と観光業に携わるおよそ2億6,600万人の雇用(世界の雇用の8.9%)を支えています。
 - 薬草、染料、果物、ヨシ、植物性資材などの採取や加工を含む伝統的な生業など、湿地は先住民族の人々の暮らしを経済的に支えています。
 - 農家や畜産業者にとって、湿地は家畜の放牧などに必要な安定的な水の供給源です。
- 湿地が減少し続けることで、生物多様性が失われ、貧困もさらに深刻化するという悪循環が起きています。
- 持続可能な開発目標(SDGs)では、貧困を減らすために、湿地を含むあらゆる生態系を保護し、回復させ、持続可能な利用を促進することを目標の一つとしています。



世界湿地の日

2024年2月2日

湿地と人間の幸福



1971年2月2日に「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約(ラムサール条約)」が採択されたことを記念し、条約事務局は、1996年に「世界湿地の日」を定めました。湿地の保全とワイズユース(賢明な利用)をさらに促進するため、2021年8月、国連総会は、この日を国連の定める「世界湿地の日」と決定しました。

日本語版作成：環境省自然環境局野生生物課

#ActForWetlands - www.worldwetlandsday.org



リサイクル適性[®]
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。